

# はぼろ

第122号

2022



8.12

議会だより

# ピツシリ



## 駒井町長出馬表明へ

定例会・臨時会・表彰

3名の議員が町政をたずね（一般質問）

常任委員会報告（総務・文教）

議会定数等アンケート実施へ

・・・2

・・・3～5

・・・6～7

・・・8

「踊り山 藤の会」（羽幌神社祭・7月10日撮影）

●発行／北海道羽幌町議会 ●編集／広報広聴常任委員会





# 令和4年 第5回定例会

本議会は令和4年6月23日から24日までの2日間の会期で開かれた。今回は報告2件、議案8件（計画の策定・変更案2件、規約変更3件、工事請負契約1件、補正予算案2件）、発議2件、意見書2件、決議1件が審議され、提案どおり可決された。一般質問は3名（4件）であった。駒井町長は金木議員の一般質問の中で、11月に行われる羽幌町長選挙に出馬すると答弁する形で表明された。

## 「活力のあるまちづくり」の実現を

### 3期目に向けて出馬表明



◆主な補正内容◆  
・農業振興対策事業



●「羽幌町スポーツ公園陸上競技場改修工事請負契約」は、今年度整備改修を榊北一組と1億758万円で契約するため議会の議決を行った。



【請負契約】

議案



78万円

J A するもいが行う販路拡大イベント事業負担金と職員の旅費。神宮球場と札幌ドームにて管内の特産品等を配布する。

・サンセットプラザ運営事業（指定管理料増額分）  
1800万円



意見書  
決議書

●「森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書」  
●「地方財政の充実・強化に関する意見書」  
【2件・全員賛成】

●決議案

「ロシアによるウクライナ侵攻について」 【全員賛成】



表彰

町村議会議員として15年以上在職し、功労があったとして金木直文議員と船本秀雄議員に北海道町村議会議長会から自治功労者表彰状が授与され、定例会後に伝達式が行われた。

## 臨時会

【5月27日開催】  
第4回臨時会

【専決処分の報告】

◆主な専決内容◆

・羽幌町税条例等の一部改正  
・羽幌町国民健康保険税条例

【物品購入・請負契約】

・羽幌町スクールバス購入  
（北王自動車）3920万円

・羽幌町総合体育館（外部）  
改修工事請負契約

（萌州・水上JV）  
1億3882万円

【一般会計補正予算】

・コロナウイルスワクチン接種事業 1098万円

・サンセットビーチ施設管理事業（修繕・解体）  
98万円



左から金木議員、森議長、船本議員



逢坂 照雄 議員



問

# ほっと号運行の抜本的な見直しは

答

## 現在のところ考えていない



一般質問  
音声配信

ほっと号運行の

抜本的な見直しは

**問** ここ4年間の乗車実績は横ばい状態であると思うが、有用性などについてどのように分析しているのか。

**答** 平成27年度以降、利用も増加傾向となっており、住民の皆さんの交通手段の確保という観点から十分必要なものと考えている。

**問** 運行廃止や便数の増減、ルートの変更など抜本的な見直しをする時期にきているのではないか。

**答** 平成15年度より運行を開始した後、運行便数の増、ルート変更や乗降方法の見直しを行っている。本年4月からは運行ダイヤの一部変更など、利用増加に向けた取り組みを現在も進めていることから、抜本的な見直しは現在のところ考えていないが、今後も利用状況の把握や検証を行うほか、必要に応じて関係先とも協議を行い、改善を図っていく。運行の廃止は考

えていない。

**問** 若者や子ども達の利用が少ないことから、高校生以下を無料にしてはどうか。

**答** 現在のところ無料にする考えはない。

羽幌港連絡バスの

運賃無料化は

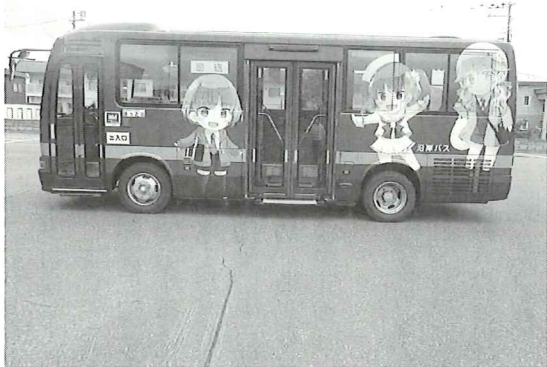
**問** 離島へ渡るためにフェリーターミナルへ運行している羽幌港連絡バスは、利用実態を検証しつつ、観光産業促進のため、運賃を無料化にすべきと思うが。

**答** 現在のところ離島住民も含めて無料化することとは考えていない。今後は利用状況を把握し、費用対効果や他の事業との兼ね合いなども考慮しつつ、最善策を探っていく。

**福祉ハイヤー料金助成事業の年齢拡大は**

**問** 平成31年度から対象者範囲を拡充して運用されている。このハイヤー

料金助成事業をより幅広く効果のあるものにするため、現在の助成枚数の見直しを行い、助成対象者の年齢を75歳以上にし、



循環バスほっと号



福祉ハイヤー借上車

らすことは難しい。

**運転免許証の自主返納者へ交付しては**

**問** 近年高齢者による交通事故が多くなる現状の中で、自主的に免許証を返納する方が増えている。その返納者へも交付すべきと思うが。

**答** 免許証自主返納者への交付は考えていないが、課題として捉えている。制度内容の見直しも含め引き続き検討していく。

免許証自主返納者も助成対象に加えて、助成対象を拡大してはどうか。  
**答** 現在、最重度障がい者は24枚、重度障がい者及び80歳以上の高齢者へは12枚のハイヤー券を交付している。80歳以上の高齢者には令和元年度より実施し、年々利用数は増加している。毎年対象者へのアンケート調査結果では、要望等で一番意見の多いのが、「利用回数増加」であるので現在助成している枚数を減



村田 定人 議員



# 持続可能な農業の確立に向けて

## 関係機関と連携し指導や助言をする



一般質問  
音声配信

問

答



秋以降の価格が7割～8割上がる化成肥料

**コスト高騰対策**  
問 現在の農業情勢は、新型コロナウイルス感染症の長期化によるコメの価格低迷、生乳の消費減少また、ロシアによるウクライナ侵攻や円安等により燃油、各種資材、農業機械、肥料の高騰による生産費の上昇、特に肥料は今年の秋以降の価格が7～8割上がる。コスト上昇分を適正に価格転嫁されるべきだが、需給に大きく左右される

のが現状である。肥料費のコスト低減に向けた取り組み強化の検討は。  
答 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、各農業者へ令和3年度に一律25万円、4年度には一律5万円の支給を予定し、追加補正予算においてさらに5万円の追加支給を計画している。また間接的な支援ではコスト低減につながる農業用機械の

導入に対する助成についても計画している。北海道においても肥料等の価格高騰に対する緊急対策を実施する予定であり、価格変動等の情勢や各種支援策に係る情報把握に努め、最適な支援について検討する。

問 地産地消のような羽幌町農業を応援する取り組みへの強化は。

答 学校給食、はぼろ温泉サンセットプラザ、特別養護老人ホームしあわせ荘では、羽幌産のお米を使用するとともにその他の農産物においても、できる限り羽幌産を使用している。また、はぼろ秋まつりを新米と野菜がそろつ10月に3年振りに行う予定。さらに、るもい農業協同組合が進めるふるさと共創事業では、財政的、人的な支援も併せ観光等の魅力をPRする中で販路拡大を目指し、その他各種の事業についても積極的に対応し応援している。



自動操舵付きのトラクター

### 水田活用の見直し

問 昨年の秋に農林水産省から水田活用の直接支払交付金の見直しが発表され、今後5年間に一度も米の作付けを行わない農地は交付対象としない。牧草は収穫のみは1万円に減額。高収益作物による畑地化を進めるとし農家に衝撃を与えた。将来に不安がある中宮農しており、不安の解消や担い手が意欲を持つて農業に取り組めるよう対策の強化をすべきでは。

答 今回の見直しにより、収入の減少、作付農用地の減少や耕作放棄地の発生が起こり、離農者が増加し、担い手不足の加速も併せ、地域農業の衰退へとつながることを危惧する。農業者の皆様にとって少しでも良い方向に向かうよう取り組んでいく必要があると考えている。留萌振興局を中心に地域ごとの課題を把握すべく意見交換が進められており、るもい農業協同組合や関係機関と連携し指導や助言も行っていきたいと考えている。



金木直文 議員



# 子ども医療費無料化拡大を

## 高校生まで前向きに検討



一般質問  
音声配信



天売高校学生寮

**高校生までの医療費無料化拡大は**  
 問 これまで幾度となく一般質問してきたが、答弁は「恒久的な財源が必要」として、「他の事業なども含め総合的に判断したい」というものだった。その後、高校生、18歳までの医療費の無料化に踏み切る自治体はさらに増えており、留萌市も今年度の市政執行方針に掲げられた。これで、管内では羽幌町だけが高校生までの無料化や医療費の還元が未実施の自治体と

なる。さらに、東京都でも高校生まで拡大する方針を固め、次年度から無料化される見通しと報道された。高校生までの医療費無料化拡大の見解は、  
 答 管内では高校生まで助成を実施していないのは本町のみとなったのはわかっている。今まで継続して検討してきたところだが、管内の状況や全国的な状況を踏まえ、現在財源の確保等を含めて高校生までの医療費無料化拡大に向け、前向きに検討している。

本年3月に策定した「第7次羽幌町総合振興計画」において、本町の「産業」をはじめ「医療・介護・福祉」などの分野別、施策項目ごとに、現状と課題、施策方針を述べたとおりであり、各施策を進めながら「健全な行財政運営」を維持した住みよい活力あるまちづくりを目標に、議員各位、町民の皆さまと共に今後の新たな社会情勢の変化に対応しながら進めていきたいと考えている。

### 駒井町長

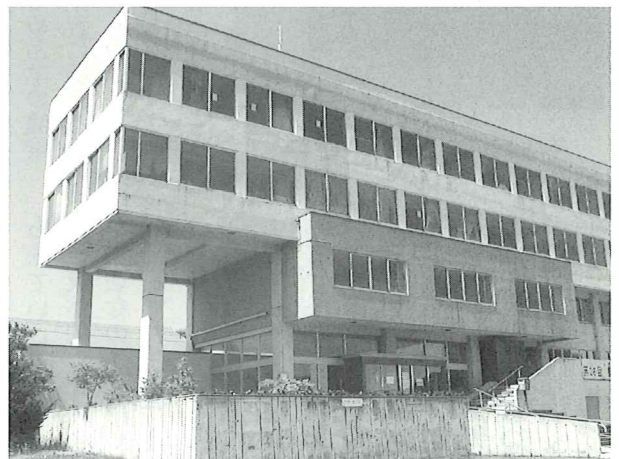
#### 3期目へ出馬表明

問 一部では次期出馬の意向との報道もあったが、出馬の考えはどうか。そうした場合の、今後の施策や課題をどのように考えているか。  
 答 これまで取り組んできた実績や反省等も踏まえつつ、引き続き羽幌町に対する思いを実現すべく、今後の施策や課題へ全力で取り組む決意であることを申し上げ、3期目へ向けた出馬表明とさせていただきます。

### 現在と今後の町政は

問 ウクライナ情勢や円安の状況かららんの物価高騰への影響がある。町民にあっては暮らしへの影響、町に関しては公共事業での資材の高騰などがある。そうしたことへの考えは。  
 答 現在、国が出している低所得者対策を基に事業を行っている。為替や原油の価格からいくと、一自治体で対応できるものではない。

意見 こうした状況が続けば公共事業への影響が



羽幌町役場庁舎

出てくるものご予想される。担当課にあっては、必要に応じて所管する常任委員会等とも連絡を取り、早めの対応をしていただきたい。  
 問 天売複合化施設については国・道からの財源的な情報が昨年の12月にあったのなら、もっと早くに議長や常任委員長に情報を伝えるべきではなかったか。  
 答 一般廃棄物処理場建設の交付金の内容が詳しくつかめず、対応に時間がかかった。



# 総務産業常任委員会

(5月20日開催)

## 生活水準の維持

### ◆辺地に係る公共的施設の総合整備計画

#### 【根拠法令】

辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律。目的としては、辺地に係る公共的施設の総合的かつ計画的な整備を促進するために必要な財政上の特別措置等を定め、辺地とその他の地域との間における住民の生活文化水準の著しい格差の是正を図る。

#### 【辺地の概要】

交通条件および自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれていない山間地、離島等の地域で、住民の数など政令で定める要件に該当している地域。

#### 【総合整備計画の策定等】

市町村は辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画を北海道知事と協議の上、財政上の総合整備計画を定めることができる。その後、議会の議決を経て北海道を經由し、総務大臣へ提出する。



天売フェリーターミナル

#### 【現在の計画策定状況】

令和2年から6年の事業計画  
天売・7事業 焼尻・3事業

#### 【財政上の特別措置】

総合整備計画に基づき、町が当該辺地において公共的施設を整備する場合、辺地対策事業債を財源とすることが可能。



焼尻フェリーターミナル

#### 《主な質疑》

【質問】 辺地対策事業債で実施する事業内容を聞きたい。

【回答】 天売は7事業の内4事業が複合化施設で、その他は和浦のポンプ場の整備、高齢者支援センター整備、教員住宅改修工事。焼尻の3事業は、めん羊牧場の草刈機購入、小中学校建て替え工事、総合研修センター建設。

## 運営状況は

### ◆焼尻めん羊牧場の現状

#### 【牧場人員体制】

- ① 3名(会計年度任用職員)
- ② 3名(会計年度任用職員)
- ③ 3名(会計年度任用職員)
- ④ 3名(会計年度任用職員)
- ⑤ 3名(会計年度任用職員)
- ⑥ 3名(会計年度任用職員)
- ⑦ 3名(会計年度任用職員)
- ⑧ 3名(会計年度任用職員)
- ⑨ 3名(会計年度任用職員)
- ⑩ 3名(会計年度任用職員)
- ⑪ 3名(会計年度任用職員)
- ⑫ 3名(会計年度任用職員)
- ⑬ 3名(会計年度任用職員)
- ⑭ 3名(会計年度任用職員)
- ⑮ 3名(会計年度任用職員)
- ⑯ 3名(会計年度任用職員)
- ⑰ 3名(会計年度任用職員)
- ⑱ 3名(会計年度任用職員)
- ⑲ 3名(会計年度任用職員)
- ⑳ 3名(会計年度任用職員)
- ㉑ 3名(会計年度任用職員)
- ㉒ 3名(会計年度任用職員)
- ㉓ 3名(会計年度任用職員)
- ㉔ 3名(会計年度任用職員)
- ㉕ 3名(会計年度任用職員)
- ㉖ 3名(会計年度任用職員)
- ㉗ 3名(会計年度任用職員)
- ㉘ 3名(会計年度任用職員)
- ㉙ 3名(会計年度任用職員)
- ㉚ 3名(会計年度任用職員)
- ㉛ 3名(会計年度任用職員)
- ㉜ 3名(会計年度任用職員)
- ㉝ 3名(会計年度任用職員)
- ㉞ 3名(会計年度任用職員)
- ㉟ 3名(会計年度任用職員)
- ㊱ 3名(会計年度任用職員)
- ㊲ 3名(会計年度任用職員)
- ㊳ 3名(会計年度任用職員)
- ㊴ 3名(会計年度任用職員)
- ㊵ 3名(会計年度任用職員)
- ㊶ 3名(会計年度任用職員)
- ㊷ 3名(会計年度任用職員)
- ㊸ 3名(会計年度任用職員)
- ㊹ 3名(会計年度任用職員)
- ㊺ 3名(会計年度任用職員)
- ㊻ 3名(会計年度任用職員)
- ㊼ 3名(会計年度任用職員)
- ㊽ 3名(会計年度任用職員)
- ㊾ 3名(会計年度任用職員)
- ㊿ 3名(会計年度任用職員)

#### 【めん羊管理状況】

飼養頭数 (令和4年4月末現在)  
オス67頭 メス245頭  
合計312頭  
最終確認日  
4月26日駆虫時に全頭確認

#### 【移動状況】

令和4年度今後見込み  
・導入(種蓄購入)  
オス2頭導入予定

北海道めん羊生産振興事業(道農政部)により、平成30年度に優良種蓄3頭が畜産試験場に導入され、その産子は北海道種畜供給事業により希望する道内牧場に供給されるため、本年度希望する。  
・譲渡(種畜出荷)  
オス2〜3頭予定

・肉用(羊肉出荷) 86頭  
オス51頭、メス35頭予定

【酪農学園大学新規連携事業】  
出産期の親・子羊の死亡率を下げるための方策を検討するため、獣医師によるめん羊の健康診断をはじめ、生育に関する指導・助言を求めるもの。

(令和3年度) 1回実施  
(令和4年度) 2回実施予定



羊舎内でくつろぐめん羊

#### 《主な質疑》

【質問】 牧場長・飼育員にほかの牧場等に向いての研修をさせる考えはないか。  
【回答】 家畜改良センターの方と話をした際に研修も受け入れていると伺っており、また、土別の農場からといっても来ていいと言われていた。今後具体的にどのような研修が適切なのか検討していく。

【質問】 現在の飼養頭数を、3名体制で運営していけるか。  
【回答】 飼育員とも協議した中で施設規模も踏まえて運営しているが、現状の体制で運営できると考えている。

【質問】 令和3年度の焼尻めん羊事業への支出額は。  
【回答】 現段階で人件費を含めた一般財源からの支出は2400万円になっている。



親羊とたわむれる子羊



# 文教厚生常任委員会

## 利便性の向上を

(5月27日開催)

### ◆ほっと号等の利用実績

ほっと号、羽幌港連絡バス(シャトルバス)、福祉ハイヤーの利用実績、羽幌町総合体育館の利用実績と施設管理等についてそれぞれの担当課より説明を受けた。



ほっと号

### 【令和3年度実績】

|            |    |       |
|------------|----|-------|
| (1)ほっと号    | 1便 | 1783人 |
|            | 2便 | 2689人 |
|            | 3便 | 1949人 |
|            | 4便 | 108人  |
| 【合計】       |    | 6529人 |
| 1便当たり乗車数   |    | 6.7人  |
| (2)羽幌港連絡バス |    |       |
| 【合計】       |    | 455人  |
| 1便当たりの乗車数  |    | 1.8人  |

### 《主な質疑》

【質問】ほっと号、シャトルバスの契約内容は。  
 【回答】バス事業者と羽幌町とが協定を結んでいて、お互いが合意のもとで契約を結んでいる。

## 当面現状のまま

### ◆福祉ハイヤー事業実績

数字は全て3月末現在

#### 【福祉ハイヤー支出状況】

|         |           |
|---------|-----------|
| 予算執行状況  |           |
| (1)障がい者 | 68万2000円  |
| 執行額     | 55万9860円  |
| 執行率     | 82・1%     |
| (2)高齢者  |           |
| 予算額     | 541万7000円 |
| 執行額     | 346万8900円 |
| 執行率     | 64%       |

### 【交付数に対する利用状況】

|         |     |           |
|---------|-----|-----------|
| (1)障がい者 | 交付額 | 99万6960円  |
|         | 執行額 | 55万9860円  |
|         | 執行率 | 56・2%     |
| (2)高齢者  | 交付額 | 526万80円   |
|         | 執行額 | 346万8900円 |
|         | 執行率 | 65・9%     |

### 【福祉ハイヤー申請状況】

|                 |      |       |
|-----------------|------|-------|
| (1)重度障がい者1(24枚) | 対象者数 | 46人   |
|                 | 交付数  | 25人   |
|                 | 交付率  | 54・3% |
| (2)重度障がい者2(12枚) | 対象者数 | 118人  |
|                 | 交付数  | 84人   |
|                 | 交付率  | 71・2% |
| (3)高齢者(12枚)     | 対象者数 | 1039人 |
|                 | 交付数  | 707人  |
|                 | 交付率  | 68%   |

### 【福祉ハイヤー利用状況】

|            |       |
|------------|-------|
| (1)重度障がい者1 | 289件  |
| (2)重度障がい者2 | 614件  |
| (3)高齢者     | 5595件 |
| 【合計】       | 6498件 |

### 《主な質疑》

【質問】一回の乗車で使用できるチケットの枚数は。

【回答】枚数については制限していないが、高齢者に対してハイヤー会社から周知してもらえらるよう、なんらかの方法を考え検討してみたい。



福祉ハイヤー

## 施設の状況は

### ◆羽幌町総合体育館の利用実績と施設管理

#### 1 利用実績

令和3年度の利用人数は、アリーナ、ランニング、トレーニングルーム、体力測定、プール、武道場、その他合わせて、合計3万8868人で前年対比81・58%であり、利用料収入も116万5890円で前年対比80・44%であった。

#### 2 施設管理

令和3年度より指定管理者から直営管理に移行したことに伴い、社会教育課体育振興係の執務場所を総合体育館へと移し、従来の業務に合わせ施設管理を行っている。

#### 3 施設の維持

令和3年度に機械設備(ボイラーの交換その他)トイレの改修などを行った。

### 《主な質疑》

【質問】利用料金は現状のままなのか。  
 【回答】利用料金については、管内の同規模の施設との関係等、また町内の他施設との整合性などを考慮して検討したい。



羽幌町総合体育館



# 医療問題調査研究特別委員会

## 常勤医師の確保を

(4月22日開催)

### ◆道立羽幌病院の体制

担当課より、令和4年4月1日現在の道立羽幌病院の常勤医師の体制について説明を受けた。

### ■常勤医師体制

(4月1日現在)

令和3年

総合診療医7名 小児科1名

令和4年

総合診療医4名 小児科1名

### ■診療体制の見直し

- ・内科の予約外患者は、可能な限り前日までの予約を推奨
- ・午後の外来は、週3回を週2回(火・木)に変更

### ■巡回診療及び訪問診療の見直し

- ・利用がほとんどなかった中央及び築別への巡回診療中止
- ・苫前町への訪問診療や巡回診療の曜日の変更

### 《主な質疑》

【質問】今後も5名体制でいいのか。羽幌町として8名体制に戻してもらえよう要望していくのか。

【回答】今後の部分としては町としては抑えていないが、引き続き北海道に対して要望等はしていきたい。

【質問】3名減となった理由は。

【回答】基本的に人事異動なので具体的な話は聞いていない。

【質問】現在の人数で救急体制は維持できるのか。それに対して町の認識は。

【回答】現状の体制では厳しいが、なんとか現有の人員で維持したい。



北海道立羽幌病院

# 議会・行政改革特別委員会

## アンケート実施へ

(5月12日開催)

### ◆議員定数の在り方に係る町民意見聴取事業

前回の特別委員会で、議員定数について町民アンケートを実施することとなり、今回はアンケート内容や調査方法等を協議した。また調査人数は500名を対象にすることとした。

### 《主な意見》

- ・留萌管内の町村議会の議員定数だけではなく、留萌市議会の議員定数も資料に盛り込むべきでは。
- ・議員定数と報酬はセットになっているので、報酬についても調査すべき。
- ・回答方法は記述形式ではなく、チェック形式にすべき。

■アンケート用紙の準備が出来次第、調査を開始することとした。

# 新型コロナ対策特別委員会

## 物価高騰対策に

(6月3日開催)

### ◆地方創生臨時交付金実施計画への追加事業(案)

新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金が交付されることから、申請予定4事業についての説明があった。

(1)漁業経営者強化事業  
・漁業操業に必要な燃料その他経費の一部として、漁船規模に応じて定額を支援  
事業費 1006万円  
(135漁業者×5万円÷15万円)

(2)農業経営者強化事業  
・営農に必要な資材費(種苗、肥料、飼料、その他)の一部として、定額を支援  
事業費 450万円  
(90農業者×5万円)

(3)スマート農業導入支援事業  
・生産性コスト及び労働力削減につながる農業用機械(トラクター等)を導入する事業に対して支援  
事業費 550万円

(4)プレミアム商品券事業

・コロナ禍における原油価格や物価高騰がもたらす地域経済への影響を鑑み、地域経済の活性化と生活者支援を目的としたプレミアム商品券の発行事業を実施  
事業費 4000万円

### 議会からのお知らせ

羽幌町議会では、昨年から全議員で構成する議会・行政改革特別委員会において、改選後の議員定数の在り方について協議してまいりますが、「町民の皆さまの意見も参考にすべき」との考えから、意見を聴取することとなりました。羽幌町内に住所を有する18歳以上の方から無作為に500名を抽出しアンケートを実施しますので、ご理解とご協力をお願い致します。なお、アンケート結果につきましては「議会だより」等にて公表させていただきます。